



目次

第一章 星川姫奈の肅清（一）

一 更衣室にて

第二章 星川姫奈の肅清（二）

第三章 星川姫奈の肅清（三）

一 容赦なき尋問

第四章 星川姫奈の肅清（四）

一 再聴取

二 淫魔の確認

第五章 星川姫奈の肅清（五）

一 屋上の密会

二 重なる心と体

第六章 鮫島彩乃の肅清（一）

一 ボーイッシュ美少女の悩み

二 美少女との相部屋

三 ボーイッシュ美少女の眼差し

四 幼馴染と女の狭間

五 歪んだ愛の形

第七章 鮫島彩乃の肅清（二）

一 あどけない誘い

二 少女に棲む淫魔

第八章 鮫島彩乃の肅清（三）

一 一体になるふたり

二 三角関係の匂い

三 最上位の淫魔

第九章 鮫島彩乃の肅清（四）

一 淫魔のたくらみと神通力

エピローグ

法的拘束力を持つ重要事項および購入者同意契約

第一章 星川姫奈の肅清（一）

一 更衣室にて

十二支学園の女子水泳部の更衣室で、鈴木恭平はエースの星川姫奈を詰問していた。ほかに部員や顧問はいない。居残り練習で体を苛め抜く彼女がひとりになる時間を狙っていた。

「鈴木くん。こんな場所にくるなんて、どういうつもり？」

濡れた黒髪をタオルで拭いて、姫奈は眦を吊り上げる。

「俺も来たかったわけじゃねえ。風紀委員長として見かねる行為を肅清するためだ。」

星川さん、これを見てもらおうか」

手に持ったスマホの画面を相手に見せる。

再生ボタンを押すと、姫奈の顔から血の気が消えていく。

『んっ……上坂くん、いいのっ。もっと、あっ、んふっ……』

画面に映っているのはふたりが立つ場所だった。

濃紺の水着姿を簀子に横たえて、少女はデイルドーを秘穴に突っ込んでいる。男子水泳部のエースで、姫奈の恋人の上坂聡は映っていない。

「盗撮したの！？ ここは女子更衣室じゃない」

動揺を必死に抑えて、姫奈は努めて冷静に振る舞おうとしていた。

「女子更衣室ならなにをしてもいいのか？」

恭平は臆することなく、動画のボリュームを上げた。

『もっと奥まできてえ……どうしても無理なの？ ああ、姫奈の体、おかしくなりそう。ううっ、はあっ……』

濡れる黒髪を振り乱す姫奈の姿は、目の前の少女と同一人物と思えないほどいやらしい痴態を演じている。

睨みつける少女の目の光が少しずつ弱くなった。

「名前を言っちゃったな。そうすると、上坂さんは水泳部の男子部員で確定する。十支学園の風紀がとても厳しいのはわかっていただろうに……」

「誰もいなければ、問題ないわ」

姫奈は強気な姿勢を崩さない。

黒髪の下にある眉は太く、パツチリした目はあどけない印象を持たせる。高校一年生とは思えないふくよかなバストにラバースーツがピタリと張りついて、双山をつくっていた。濃紺の生地が妖艶な曲線を描く。

「問題大ありだよ」

「なぜ？ アンタが勝手に盗撮したほうが問題だわ」

頭に乗せた白いタオルの端をギュッと握りしめる。己の恥部の盗撮をなじるような眼差しで、もぞかしそうに体を揺すった。

そのあいだも動画は流れている。

『んあっ、この前みたいに激しくしていいのお……んんっ、はあっ、メチャクチャになるくらい突いてえ』

そこで、恭平は一時停止のボタンを押した。

「この前？ 以前はふたりでここにいたんだね？」

「さあ……覚えていないわ」

「しらばっくれても、お前が言っているんだぜ」

「適当に口走っただけよ。いい加減に動画再生をやめて」

目を紅くして姫奈は睨み上げてきた。

目鼻立ちの整った小顔が上気して、肩を上下に弾ませている。濡れた唇がはぼってりしており色っぽい。

強引にスマホを奪いにこないことから、やましい気持ち伝わってきた。

「いいよ。じゃあ、ふたりで抱き合っている動画を流してやろう」

「え！？　いつ盗撮したのよ！」

その瞬間、少女はハツとした表情になる。さっきまでの余裕を一気に失い、視線をさまよわせた。

「二週間前だ。上坂先輩が地方遠征に行かれる直前だな。ずいぶん生々しい映像だし、先輩に確認しようかと思っている」

滔々と恭平は言った。

もちろん、そんなモノはない。姫奈が素直に自慰行為を認めて、今後はやらないと明言してくればよかったのだ。

ただ、彼女の反応から言うとおりに動くとは思えなかった。

「やめて！　絶対にダメ」

姫奈はわかりやすい反応を示す。

これは完全にクロだ。しかも慢性的に上坂と逢瀬を交わしていたに相違ない。恭平にとってはふたりの異性交遊に興味などなかった。

「お前に指示されることじゃない。だって、協力的な姿勢を見せないじゃないか。俺をただのチクリ野郎と思っているだろう？　キチンと反省してくれば、報告しない可能性もあるんだよ」

穏やかに少女を諭す。

十二支学園の水泳部エースは、学業も優秀で常に学年一位をキープしている。学園には護衛隊なるファンクラブまであり、風紀委員長の肩書きしかない恭平には手の届かないアイドル生徒だ。

だから、当初は関わらないつもりであった。

「ごめんなさい。とても反省しています。協力は惜しみませんから、校長に報告するのだけはやめてください。お願いします」

さっきまでの態度とは打って変わり、少女の口調はか弱くなる。高圧的に嘘をついても状況がよくなるないと判断したのだろう。

こちらの言いかたでカメレオンのように変わる姫奈に対して、少年のなかでどす黒い感情が膨れ上がる。

星川姫奈は幼馴染で、まったくの赤の他人ではなかった。それなのに、初対面のような態度も許せない。劣情は募るばかりであった。

「どうしようかな。協力って言われても、さっきまで嘘ばかりついていた人が何を語っても……信じられないね」

「そんな……上坂くんには言わないで……」

必死に哀訴する少女へ背を向けた。

少し頭を冷やしてから出直してこい。幼馴染のエースに懺悔の時間を与えようと思
っていた。

ところが、彼女は校長へ報告すると勘違いしたらしい。恭平の牡欲を焚きつける台
詞を吐いた。

二

「なんでもするから……お願い」

涙声でするように姫奈は言った。

上坂聡は水泳男子部のエースである。大学へは推薦入学が決まっており、彼女との
関係を露見されると、すべて破談してしまう。

聡明な少女は暗転するであろう将来が脳裏に浮かんだらしい。

「なんでもって、大袈裟な」

「だって、彼に確認するんでしょ？」

最初の強気で傲慢な雰囲気は微塵もなかった。まるで、隸属する態度でこちらの顔
色を窺ってくる。

前のめりになる姫奈の胸元がプルンツと弾む。手のひらで覆いきれないサイズの乳房の谷間が見えた。

「じゃあ、なにをしていたか再現しなさい」

ほぼ無意識に口走っていた。

事実説明には必要不可欠なことである。ただし、器物破損や服装の乱れとは違い、性交友は自由以外の証拠はない。映像は盗撮になるため、あるとすれば、該当者がその身をもって再現するくらいだった。

「そ、そんなこと……できないわよ。どうして、わたしがアンタと……」

姫奈は姿勢を正して、険しい面持ちを浮かべる。

無意識に両腕を掻き抱いた。豊乳が寄せられて、艶やかな雰囲気は濃くなる。視線を横にそらす小顔は真っ赤になっていた。

少女の反応は恭平の想定とおりである。

「だろうね。こういうことは身に染みないと繰り返す可能性が高い。本当に恥ずかしいと体感してもらわないとね……」

「うううっ……アナタと……」

「だって、上坂先輩に確認するのはマズいんだろ？ 彼が遠征から戻ってくるまで一ヶ月あるからね。まごまごしていられないよ」

事実を淡々と並び立てて、恭平は事実検証を正当化する。

この手合いに脅迫だけでは通用しない。間髪置かずに現状を認識させて、思考力を奪う。優等生の姫奈なら、なおさらである。彼女が根回しをすれば護衛隊に囲まれて、こちらがボコボコにされてしまう。

もう一つ、重大な理由がある。

恭平も水泳部員であり、上坂にいじめられていた。風紀委員長に変な詮索をされないう、上坂なりに楔を打ったつもりなのだろう。

だが、アイツはいまいない。

復讐するには絶好の機会だった。まさか、上坂の彼女が姫奈とは想像もしていない。あの男の大事なモノは、目の前の美少女のはずだ。

「わかったわ……一回だけにして……」

絞り出すように姫奈は掠れた声を出す。

どうやら、観念したらしい。臉を落として、ペタンと尻もちをついた。みずみずしい柔肌がうねり、少年の煩惱を刺激する。

「ああ。もちろんだ。何度も検証する必要はない」

無防備な水着姿に目を凝らして、何度も生唾を飲みこんだ。

交差位でデイルドーを秘壺に捻り込む姿から、少女と上坂の淫戯は容易に想像がついた。そのデイルドーがナマの肉棒になっただけに相違ない。

もちろん、恭平は何も言わなかった。

憶測で事実を語る必要はない。

「水着は脱がないのか？」

「このままで……ゆるしてえ……」

戦意喪失した姫奈はおずおずと左手を股間に当てて、こちらの様子を伺っている。

流麗なフェイスラインが小刻みに震えていた。

「続きは本文でお楽しみください」

法的拘束力を持つ重要事項および購入者同意契約

本文書は、成人向け官能小説作品（以下、「本作品」という）を公開・販売するにあたり、著者（以下、「当方」という）と購入者（以下、「貴殿」という）の間で締結される法的拘束力を持つ同意契約です。本作品の購入、ダウンロード、閲覧、またはその他の方法でのアクセス行為により、貴殿は本免責事項の全条項に完全かつ無条件に同意したものとみなされます。同意できない場合は、

本作品の購入・閲覧を直ちに中止してください。

一年齢制限および法的確認

本作品は日本国内法において成人と認められる18歳以上の者のみを対象としています。

本作品の閲覧・購入により、貴殿は自らが法的に成人年齢（18歳以上）に達していることを宣言・保証し、これに虚偽があった場合のすべての法的責任を負うことに同意するものとします。

貴殿は、本作品を未成年者に提供・共有・販売・貸与しないことを誓約します。

貴殿は、本作品の閲覧にあたり、貴殿の居住地および閲覧地の法令で成人向けコンテンツの閲覧が許可されていることを確認し保証するものとします。

二 コンテンツの性質および免責

本作品には、明示的な性的描写、成人向けの要素、およびその他センシティブな表現が含まれています。

本作品に登場するすべての人物、場所、団体、事件、状況は完全なフィクションであり、実在の人物（生存者・故人を問わず）、団体、事件、場所とは一切関係ありません。いかなる類似性も偶然の一致であり、意図的なものではありません。

本作品で描写される行為、状況、関係性は、現実世界における法的・倫理的・道徳的価値観を反映するものではなく、また推奨・奨励・助長するものでもありません。

本作品は芸術的・文学的表現の自由に基づく創作物であり、表現の自由を保障する憲法その他の法令により保護されています。

貴殿は、本作品の内容が貴殿の想像力を刺激し感情を喚起する可能性があることを認識し、それらに対する対処は貴殿自身の責任であることに同意するものとします。

三 個人の感性と判断の完全責任

性的表現や官能的描写に対する感じ方は個人差があります。貴殿は完全に自己責任において本作品を閲覧するものとし、その判断と結果について当方は一切の責任を負いません。

貴殿は、本作品の内容が貴殿の個人的価値観、信条、宗教的・道徳的・倫理的信念に合致しない、または挑戦的である可能性があることを明確に理解し、それにより生じる精神的・感情的反応について当方に責任を求めないことに同意するものとします。

貴殿は、作品内容に不快感や心理的動揺を覚えた場合、直ちに閲覧を中止することが貴殿自身の責任であることを認め、これを怠ったことによる結果について当方に一切の責任を求めないことに同意するものとします。

貴殿は、本作品を閲覧することによって引き起こされる可能性のある感情的、心理的、または精神的影響について当方が責任を負わないことを明示的に同意します。

四 販売プラットフォームの規約と購入形態

本作品は、各販売プラットフォーム（note、DLsite、FANZA、その他EPUB形式で配信するプラットフォーム）の規約に準拠して制作・販売されています。

貴殿は、プラットフォーム固有の利用規約および制限事項をすでに確認し理解したことを確認するものとします。

貴殿は、本作品がもともとnoteで公開された記事をEPUB形式に変換・編集して販売されている場合があることを理解し、それによる内容の差異や形式的特性について異議を唱えないことに同意するものとします。

貴殿は、購入後のEPUBファイルの管理は完全に貴殿の責任であり、ファイルの紛失、破損、または意図しない拡散について当方は一切責任を負わないことに同意するものとします。

五 著作権および厳格な利用制限

本作品のすべての内容、テキスト、キャラクター、設定、ストーリー、アートワーク、

およびその他の創作的要素に関するすべての権利（著作権、商標権、その他の知的財産権を含む）は、完全かつ排他的に当方に帰属します。

貴殿は、以下の行為を明示的に禁止されることに同意するものとします..

本作品の全部または一部の複製、再配布、転売、貸与

本作品の全部または一部の公開朗読、朗読配信、公開上映

本作品の翻訳、翻案、改変、二次創作、派生作品の作成

本作品の内容に基づく商品化、グッズ制作

本作品を利用したAI学習、データベース構築、テキストマイニング

本作品の全部または一部をSNS、ブログ、メッセージアプリ等で共有することその他、

当方の権利を侵害する可能性のあるあらゆる利用

貴殿は、本作品を個人的に楽しむ目的でのみ使用できるものとし、それ以外のいかなる目的での使用も厳格に禁止されます。

上記の制限に違反した場合、当方は法的措置を含むあらゆる適切な手段を講じる権利を留保し、貴殿はそれによって生じた法的費用を含むすべての損害の賠償責任を負うことに同意するものとします。

六 完全な責任免除および法的保護

当方は、本作品の閲覧、使用、または本作品へのアクセスができないことに起因して生じたいかなる直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または派生的損害（心理的・

精神的被害、評判の損害、事業の中断、データの喪失、利益の損失を含むがこれらに限定されない）についても、たとえそのような損害の可能性について当方が知らされていた場合であっても、一切の責任を負わないものとします。

本作品の解釈、内容理解、および閲覧後に貴殿が取る行動や受ける影響については、完全かつ排他的に貴殿自身の責任であり、これに関連するいかなる請求からも当方を免責・防御・保護することに貴殿は同意するものとします。

貴殿は、本作品に関連して第三者から当方に対して提起されるいかなる請求、訴訟、要求、費用、責任、および支出（合理的な弁護士費用を含む）についても、貴殿の本免責事項違反から生じた場合、当方を防御、免責、および損害を与えないことに同意するものとします。

適用法で許可される最大限の範囲において、当方の総責任額は、貴殿が本作品に対して支払った金額を超えないものとします。

一部の法域では特定の保証の除外または責任の制限を認めていないため、上記の制限の一部は貴殿に適用されない場合があります。しかし、法律で許可される最大限の範囲で制限が適用されるものとします。

七 プライバシー、セキュリティおよびリスク認識

貴殿は、本作品の購入・ダウンロード・閲覧履歴が個人のプライバシーにかかわる機密情報であることを認識し、これらの情報および本作品のファイル自体の管理は完全に

貴殿の責任であることに同意するものとします。

貴殿は、共有デバイス、公共の場所、職場環境、または第三者がアクセス可能な環境での本作品の閲覧・保存に伴うすべてのリスク（社会的評判、雇用関係、人間関係への潜在的影響を含む）を完全に理解し、そのようなリスクから生じるいかなる結果についても当方が一切責任を負わないことに同意するものとします。

貴殿は、インターネット通信、クラウドストレージ、デジタルデバイスに固有のセキュリティリスク（ハッキング、不正アクセス、マルウェア感染、データ漏洩など）を理解し、本作品の購入・保存・閲覧に関連するそのようなリスクについて当方が一切責任を負わないことに同意するものとします。

貴殿は、本作品の Epub ファイルまたはその他のデジタル形式が、技術的な問題、互換性の問題、またはデバイスの制限により正しく表示または機能しない可能性があることを認識し、そのような技術的問題について当方が責任を負わないことに同意するものとします。

八 問い合わせと紛争解決

本作品に関するご質問、ご意見は連絡先までお寄せください..

当方は問い合わせに対する回答義務を負わず、回答の有無、内容、タイミングはすべて当方の裁量によるものとします。

本免責事項または本作品に関連して生じるいかなる紛争も、日本国の法律に準拠する

ものとし、地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

九 可分性と完全合意

本免責事項のいずれかの条項が無効または法的強制力がないと判断された場合でも、残りの条項は完全に効力を維持するものとします。

本免責事項は、本作品に関する貴殿と当方の間の完全な合意を構成し、書面または口頭を問わず、本件に関する以前のすべての理解、合意、表明に優先します。

本免責事項は、当方の書面による明示的な同意なしに変更または修正することはできません。

十 承諾と効力発生

貴殿は、本作品を購入、ダウンロード、閲覧、または他の方法でアクセスすることにより、本免責事項をすべて読み、完全に理解し、法的拘束力のある合意として無条件に同意したことを認めるものとします。

本免責事項への同意は、貴殿による本作品へのアクセス時点で効力を生じ、永続的に有効であり続けるものとします。

法的通知… 本免責事項に同意せずに本作品にアクセスした場合、著作権法違反および契約違反となり、法的措置の対象となる場合があります。同意できない場合は、直ちに本作品の閲覧を中止し、すべてのコピーを削除してください。

本免責事項に同意された上で、作品をお楽しみいただければ幸いです。

最終更新日：二〇二五年三月二十九日

著者名：宇佐見翔